

# 津山市教育委員会通信

【津山市教育委員会】  
〒708-8501 津山市山北520  
電話：0868-32-2112（教育総務課）  
Eメール：kyouiku@city.tsuyama.lg.jp

## 令和6年度 全小中学校でコミュニティ・スクールを展開

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題が複雑化・多様化していることから、本市では、「地域とともにある学校づくり」を推進していきます。学校とともに地域も学校運営に責任を担うことにより、地域や学校に愛着と誇りを持ち、夢や希望をもって何事にも前向きに取り組める子どもたちを育成します。

今年度は新たに小学校17校が学校運営協議会を設置し、市内小中学校全校がコミュニティ・スクールとなります。

- 【これまでの取組(例)】
- ▽学校運営協議会に専門部会を設定
    - ・学校・地域協働部会、不登校支援部会、部活動地域移行研究部会など
  - ▽授業参観・給食試食会等実施
    - ・学力向上、校則、部活動、暴力、いじめ、不登校、スマホ利用など
  - ▽地域学校協働活動等との連動
    - ・中学校区あいさつ一斉運動
    - ・生徒会との本音で語る会
    - ・中学生による公民館講座開設（学習、絵イラスト、サッカー、リコーダー、ダンス、作文、eスポーツ、パソコン等）
    - ・地域夏祭り参画
    - ・小中学生合同学習会
    - ・地域人材活用したクラブ活動など
    - ・おやじの会

これまで、学校運営協議会では、学校の課題について協議したり、あいさつ一斉運動や中学生による公民館講座開設等を行ってきました。

今年度は各学校運営協議会で、学力の向上やいじめ・不登校等の問題、今後の小中学校体制整備、部活動の地域連携・地域移行など、課題に対する話し合いを深め、情報発信を充実するなど、期待しています。



R3 (1校)	R4(2校)	R5 (15校)	R6 (17校)
津山東中	鶴山小 勝北中	佐良山小 加茂小・中 <津山東中学校区小学校> 林田小 清泉小 高野小 成名小 河辺小 大崎小 広野小 <中学校> 中道中 北陵中 鶴山中 津山西中 久米中	東小 西小 南小 北小 弥生小 向陽小 院庄小 一宮小 高田小 高倉小 新野小 広戸小 勝加茂小 高松小 中正小 誠通小 秀実小

【コミュニティ・スクールとは】学校運営協議会が設置された学校のこと。学校運営協議会では、学校運営の基本方針を承認したり、学校運営について協議することができます。

## 小学校学年担任制の導入について

教育委員会では、令和6年度より市内の全小学校27校で、学級担任を複数の教員で分担する「学年担任制」を実施します。

この取組は、複数の教員がチームで子どもたちに関わることで、児童の様子をきめ細やかに把握し、指導を行うものです。同時に、教員の人材育成や負担軽減の効果も期待しています。学年担任制の進め方など具体的な運用は、各小学校で工夫していきます。

学年担任制は、令和4年度に2校で試行し、令和5年度には13校に拡大してきました。

# 一人一人の「多様な学び」の実現に向けて

津山市では、学校へ行きづらさを感じている児童生徒や通常の学級で学びにくさを感じている児童生徒などに対して、一人一人にあった「多様な学び」の実現に向けて環境整備の取組を進めています。

## 学校へ行きづらさを感じている生徒の支援 ～新たな居場所「自立応援室」設置～

学校へ行きづらさを感じる生徒を支援するために、専属教員と別室支援員が常駐した新たな居場所「自立応援室」を市内の中学校5校に設置しています。

(R6より津山西中を拡充)



生徒の状況に応じた学びの実現を目指し、個別の学習スペースを設けたり、鶴山塾やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の外部専門家とも連携して、生徒がより主体的に学び、生活できる居場所づくりを目指しています。

## 児童生徒の自立への支援 ～教育相談センター「鶴山塾」～

学校のことや友だちのこと、家族のことなどで悩みをかかえる児童生徒やお子さんのことで悩みや不安を持っている保護者の方への相談支援を行います。

鶴山塾では、電話や面接で教育相談を行っています(相談無料)。また、小中学生を対象として通塾支援や家庭訪問による支援も行っています。詳しくはHPをご覧ください。



## 学びにくさを感じている児童生徒への支援 ～通級指導教室等の充実～

通常の学級において、読み書きの困難さや人との関わりの困難さなどから、学びにくさを感じている児童生徒がいます。

今年度より、北小、西小、津山西中、北陵中の「通級指導教室」に加えて、高野小と津山東中に「通級指導教室」のサテライト校を設置し、個別の教育的ニーズに応じた指導の充実を図ります。

また、専門性の高い教員2名を「特別支援教育ナビゲーター」として任命し、市内すべての小中学校を巡回指導し、学校で一人一人の困り感に寄り添った指導・支援が行われるよう、取組を進めています。

## 困り感を抱える小学生の保護者への支援 ～親同士で語り合う「おやとおやの会」開催～

学校へ行きづらさを感じている児童の保護者を対象に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門家も交え、子育ての悩みや就学や進路の悩みなど親同士での語らいの場を設けています。

トライアルを経て今年度から本格開催します。今後、チラシ等でご案内します。



<https://forms.gle/eSiMMnCNW9Q7gQXEA>

## 特別に編成された教育課程に基づく教育を行う学校 ～「学びの多様化学校」設置に向けた検討～

教育委員会では、多様な学びの機会拡充の一つとして「学びの多様化学校」(いわゆる不登校特例校)の設置について検討を行っています。

「学びの多様化学校」とは、様々な理由で小学校や中学校等に通えていない児童・生徒が在籍校から編入学し、特別の時間割や学習方法で教育を行うことを文部科学省が特別に認める学校です。

令和6年4月現在、全国に35校が設置されています(うち、公立学校21校、私立学校14校)。

## 「学びの多様化学校」(いわゆる不登校特例校)とはどんな学校?

「学びの多様化学校」とは、様々な理由で小学校や中学校に通えていない児童・生徒がより学びやすい場所となるように、特別の時間割や学習方法で学ぶことを文部科学省が特別に認める学校です。

津山市でも現在「学びの多様化学校」の設置に向けて検討を進めています。

令和5年4月現在 全国24校設置

※学校形態として、単独校、小中一貫校、分教室、二部学級などがあります。

